



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社

コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO

(氏名) 古川 令治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長

(氏名) 宮毛 忠相

TEL 03-3502-4910

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,366	△26.5	△26	—	△16	—	△19	—
25年3月期第2四半期	1,858	6.8	△105	—	△124	—	△46	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △8百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △64百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△0.89	—
25年3月期第2四半期	△2.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
26年3月期第2四半期	5,638		2,845		50.0	127.09
25年3月期	6,102		2,899		47.1	129.46

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,821百万円 25年3月期 2,874百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,915	△22.5	62	—	48	—	25	55.8	1.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	22,615,056 株	25年3月期	22,615,056 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	413,101 株	25年3月期	413,101 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	22,201,955 株	25年3月期2Q	22,202,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結累計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」）の我が国経済は、円安や金融市況の回復を背景として、緩やかな回復基調にありました。先行きについては、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、世界経済の情勢や為替相場の動向などから依然として不確実性が存在しております。

当社の主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場及び国内のホテル・レジャー市場は、徐々に立ち直りの傾向をみせております。

このような経済状況のもとで、当第2四半期の当社グループは、所有不動産の売却活動、新規投資案件のソーシング、ホテル等の事業所の採算向上、並びに食品製造機械の生産・受注活動などに注力してまいりました。

当第2四半期の当社グループの収入は、前連結会計年度における店舗撤退の影響から減収となり、売上高1,366百万円（前年同期比26.5%減）となりました。

一方、利益水準については、企業投資及び不動産投資における売却益、不採算店舗撤退の効果、並びに円安による為替差益の発生等により、営業損失26百万円（前年同期は営業損失105百万円）、経常損失16百万円（前年同期は経常損失124百万円）、四半期純損失19百万円（前年同期は四半期純損失46百万円）となり、前年同期から大幅に改善したものの赤字となりました。

また、当社は、第1四半期よりアドメテック株式会社を新たに持分法適用関連会社とし、当第2四半期より合同会社マーチャント・ソーラー2号を連結の範囲としております。

報告セグメントごとの業績は、次の通りであります。

(マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に日本及び中国の企業及び不動産向けの投資事業並びに太陽光発電関連事業を営んでおります。

当第2四半期は、経常的な不動産賃貸収入があったほか、販売用不動産及び営業投資有価証券の売却益があり、売上高333百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益51百万円（前年同期はセグメント損失14百万円）となり黒字に転じました。

岡山県津山市の太陽光発電所は、本年9月に稼働開始し、当社は若干額の案件組成手数料を得ております。

群馬県利根郡みなかみ町の太陽光発電所は、当社100%出資の合同会社マーチャント・ソーラー2号を事業主体として、当第2四半期において1メガワット規模の太陽光発電所の着工を開始し、平成26年1月頃に稼働及び売電を開始する予定です。売電による営業利益は、次期以降、年間ベースで10～16百万円程度を見込んでおります。

(オペレーション事業)

当社グループは、当社及び連結子会社である株式会社ホテルシステム二十一において、宿泊施設の運営、ボウリング場の運営、給食業務の受託などを行っております。

当第2四半期は、前期に行った店舗撤退の影響により売上高953百万円（前年同期比31.7%減）と減収になり、セグメント利益10百万円（前年同期比56.4%減）となりました。

(マニュファクチュアリング事業)

当社グループは、連結子会社である旭工業株式会社において、食品製造機械の製造、販売を行っております。

当第2四半期は、予定していた大口納品が第3四半期にずれ込んだことなどにより、売上高78百万円（前年同期比39.5%減）、セグメント損失10百万円（前年同期はセグメント損失22百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は5,638百万円で、前連結会計年度末に比べ463百万円減少しております。現金及び預金の減少684百万円、有形固定資産の増加293百万円が主な変動要因であります。

(負 債)

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は2,793百万円で、前連結会計年度末に比べ409百万円減少しております。短期借入金の減少391百万円が主な変動要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は2,845百万円で、前連結会計年度末に比べ54百万円減少しております。四半期純損失19百万円、剰余金の配当44百万円、その他有価証券評価差額金の増加11百万円が主な変動要因であります。この結果、自己資本比率は50.0%（前連結会計年度末は47.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日付当社「平成25年3月期 決算短信」において公表した通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,006,081	1,321,173
受取手形及び売掛金	172,556	97,162
営業投資有価証券	405,475	382,496
販売用不動産	281,668	153,502
商品及び製品	3,692	3,082
仕掛品	13,897	157,305
原材料及び貯蔵品	19,716	21,094
その他	73,373	79,149
貸倒引当金	△590	△96
流動資産合計	2,975,870	2,214,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,030,360	1,119,550
土地	1,378,735	1,406,858
その他(純額)	131,299	306,994
減損損失累計額	△214,552	△214,551
有形固定資産合計	2,325,842	2,618,852
無形固定資産		
のれん	393,173	367,587
その他	1,471	1,343
無形固定資産合計	394,645	368,931
投資その他の資産		
投資有価証券	78,778	111,316
敷金及び保証金	160,566	159,361
その他	169,235	167,235
貸倒引当金	△2,933	△1,920
投資その他の資産合計	405,647	435,993
固定資産合計	3,126,135	3,423,777
資産合計	6,102,005	5,638,646

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,167	101,126
短期借入金	1,310,893	919,725
1年内返済予定の長期借入金	80,492	75,288
未払費用	128,423	84,453
賞与引当金	5,094	9,510
その他	186,565	181,566
流動負債合計	1,821,636	1,371,669
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	554,512	594,771
長期預り敷金保証金	123,280	123,910
退職給付引当金	33,100	33,100
役員退職慰労引当金	10,600	10,600
その他	59,527	59,534
固定負債合計	1,381,019	1,421,915
負債合計	3,202,655	2,793,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765,732	2,765,732
資本剰余金	20,849	20,849
利益剰余金	234,303	170,170
自己株式	△83,280	△83,280
株主資本合計	2,937,605	2,873,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63,064	△51,706
為替換算調整勘定	△325	△207
その他の包括利益累計額合計	△63,389	△51,914
新株予約権	25,133	23,504
純資産合計	2,899,350	2,845,062
負債純資産合計	6,102,005	5,638,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,858,953	1,366,353
売上原価	791,611	613,296
売上総利益	1,067,342	753,056
販売費及び一般管理費	1,172,798	779,132
営業損失(△)	△105,456	△26,075
営業外収益		
受取利息	1,322	15,990
為替差益	—	22,694
その他	4,240	3,029
営業外収益合計	5,562	41,714
営業外費用		
支払利息	6,828	13,919
社債利息	7,264	7,264
為替差損	10,538	—
持分法による投資損失	—	10,590
その他	212	—
営業外費用合計	24,843	31,773
経常損失(△)	△124,737	△16,134
特別利益		
事業譲渡益	101,302	—
新株予約権戻入益	6,605	1,959
関係会社株式売却益	—	3,254
保険差益	—	2,378
その他	18,826	158
特別利益合計	126,733	7,750
特別損失		
事業整理損	8,578	—
事業譲渡損	29,116	—
関係会社株式評価損	—	1,590
その他	1,020	455
特別損失合計	38,715	2,045
税金等調整前四半期純損失(△)	△36,719	△10,430
法人税、住民税及び事業税	12,207	8,967
法人税等調整額	△2,769	331
法人税等合計	9,438	9,299
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△46,157	△19,729
四半期純損失(△)	△46,157	△19,729

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△46,157	△19,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,580	11,357
為替換算調整勘定	—	117
その他の包括利益合計	△18,580	11,474
四半期包括利益	△64,738	△8,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,738	△8,254
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業	マニュファクチャリング事業			
売上高						
外部顧客への売上高	332,768	1,395,827	130,358	1,858,953	—	1,858,953
セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	332,768	1,395,827	130,358	1,858,953	—	1,858,953
セグメント利益又は損失(△)	△14,492	23,134	△22,940	△14,297	△91,158	△105,456

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△91,158千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

オペレーション事業において、株式会社ホテルシステム二十一の株式取得により、当第2四半期連結累計期間に同社の超過収益力によるのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は307,386千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業	マニュファクチャリング事業			
売上高						
外部顧客への売上高	333,995	953,535	78,822	1,366,353	—	1,366,353
セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	333,995	953,535	78,822	1,366,353	—	1,366,353
セグメント利益又は損失(△)	51,609	10,090	△10,955	50,744	△76,820	△26,075

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△76,820千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。